



東北 復興日記

まだまだ

▶▶ 231



特定非営利活動法人

「ザ・ピープル」理事長

吉田恵美子さん

は、これまで二十七年、古着のリサイクルをしています。県内約四十拠点で古着を年間二百六十トほど回収し、リユースやリサイクルを続けてきました。

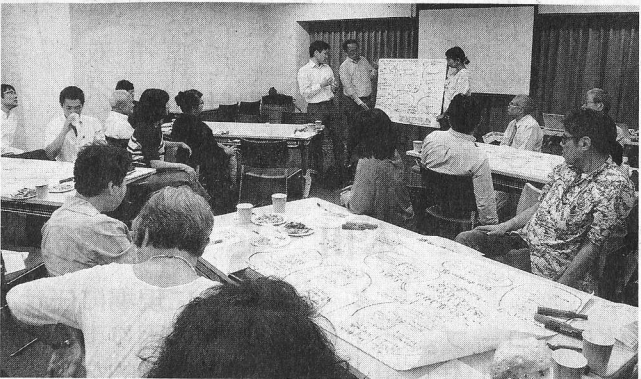
「オーガニックコットンのことが何でもわかる資料館を」「地域の人も、外からの人も、ちょっとのぞいてちょっとボランティアができるような場を」。付箋紙に書かれたコメントから、皆さんの思いが伝わってきます。

ふくしまオーガニックコットンプロジェクトのボランティアなどを通じて知り合った首都圏の皆さま

古着を希望の種に

ん二十数人が九月一日、東京都内で集まりました。写真。「どんな交流施設ができれば、地域内外の人が集い、コミュニティの核となるような場にできるでしょうか？」。意見を募ると、次々にアイデアを出してくださいました。

福島県いわき市を中心に活動するNPO法人「ザ・ピープル」



ザ・ピープルの本部とチャリティーショップが入居していた、市内の小さなショッピングモールは来年一月に閉館が決まり、移転先を探さなくてはならなくなりました。古着販売の店舗は、私たちの経済的基盤を支える場所でもありました。

そこで、私たちは東日本大震災後、自ら開設した「いわき市小名浜地区復興支援ボランティアセンター」の敷地に、活動拠点を整備することにしました。急場しのぎでプレハブを仮置きしましたが、さらにプレハブを増設し、本部や店舗とします。

いただいたアイデアを実現するために、自己資金では足りない分をクラウドファンディングで集めることにしました。十月一日から、「FAAVO磐城国」という地域発のプロジェクトを応援するサイトで開始。現時点で目標の73%、百四十五万円ほどが集まっています。目標は二百万円です。プロジェクト名は「コットン×古着×ボランティア 福島浜通りで希望の種が育つ拠点を作りたい」。十二月十五日まで。ぜひ一度サイトをご覧ください。

※この連載は、東京のNPO法人JKSKと、被災地の女性たちが協力して復興に取り組む「結核プロジェクト」の協力を得て、掲載しています。